

SUN LIGHT

サンライト

夏鳴

Vol.
31

発行日 平成12年 9月
発行所 筑波茶崎霊園（水曜定休日）
所在地 茨城県稲敷郡茶崎町若菜500
電話 0298-76-3880



東谷田川から望む若菜城跡

お盆が終わったと思ったら、もうすぐお彼岸です。昔から「暑さも彼岸まで」といいます。季節的にもちようどよく、皆さまには気持ちよくお墓参りをさせていただけると存じます。

もの本によりますと、「お彼岸は「度止まる日」だそうです。

手のひらに「一（いち）と書きます。次にその「一」の下に「止」とまる」と書きます。「二」と「止」を合わせると「正（ただしい）」となります。「正しい判断や決断をするときには、度止まって考えましょう」ということだそうです。

お釈迦さまは常々「いつも雑踏の中に身を置いていたのでは、いい考えは浮かばない。静かなとろに人、身を落ち着けてこらんなさい。心が落ち着きます」と教えてくださっています。

なるほど立ち止まってみるということはそういう意味があるのですね。お墓の前でしばし黙想していると、誰しもこれまで生きてきた「己」の人生を振り返り、これから先の行く道に思いをはせます。これでよかったのだろうか。反省の気持ちが「歩前進」につながります。墓前にぬかすくことは自分と向き合うことでもあると思います。なんだか説教がましい言いかたになつてしまいましたがお許し下さい。

ところで牡丹園では現在、10月後半から12月初旬にかけて咲く、本来の寒牡丹（「開咲き」）に取りくんています。

葉の剪定を慎重にし、肥料は通常の1/3程度にと成功させようと頑張っています。500から600株ありますが、今年はずいぶん目標にしています。種類は、おもにつきの三つです。

秋冬紅（しゅうとうこう）

寒牡丹の中で、早く咲く習性を持っています。これが咲くころは、冬としてはまだ気温が高い頃なので、葉が伸びていて、その葉も新緑の緑ではなく、冬の緑で花との調和がよく、季節感があります。

錦王（きんのう）

鮮やかな白い絞りが美しく入る品種です。名前の通り美しい絞り錦になるのはこの種だけです。小輪ですが花つきは最もよく、繁殖力も寒牡丹の中では優れています。

白筆（はくほう）

春の花は大輪、冬の花は春より小さいが寒牡丹の中では大輪です。柱頭は白く、子房を露出します。

開花に成功すれば今秋初オープンを考えています。10月に入ったらお問合せ下さい。